



北郷幹夫 議員

東京五輪聖火リレー

北郷 東京五輪聖火リレーが、来年3月26日に福島県のJヴィレッジを出発し各都道府県を巡ることが決定しました。大会組織委員会は、被災地に暮らす人々が困難を乗り越える力や不屈の精神を全国に受け継いでいく聖火リレーしたいと説明しています。

盛り上げる取り組みは

町長／出場国の事前キャンプ誘致

町長 ①Jヴィレッジでは、サッカーはもちろんのこと、陸上競技、ラグビーなどの競技が可能ですので、オリンピック出場国の事前キャンプを誘致したいと考えています。

②聖火リレーは町内において実施することが決定しました。町民総参加により、キャンプ地やホストタウンが実現した国の応援はもとより、聖火リレーに沿道で手を振るなどのイベントを展開し、復興五輪にふさわしい工夫をして行きま

交通事故防止

北郷 平成31年3月29日、上浅見川字桜田地内の信号機のない十字路交差点において、大変痛ましい交通事故が発生しました。

町長 ①1084日で途切れました。②町は、双葉警察署と連携し、町職員が毎月

ドライブレコーダー取付を

町長／長距離使用車には設置

役場前交差点において交通安全立哨活動に取り組んでいます。③昨年度より購入する長距離出張用の公用車について設置することとしました。今後、既存の車両においても用途に応じて設置を検討します。

災害公営住宅

空き部屋の有効活用を

町長／今後も空きが続けば一般公募

北郷 被災者向けの災害公営住宅である広野原団地は、入居開始から5年を迎える関係で空き家が発生し、何度か入居者募集を実施しています。

町長 ①広野原団地及び大平未来団地の入居状況につきましては、令和元年5月31日現在で、広野原団地が48戸中39戸、大平未来団地が14戸中14戸入居しています。

8人の議員が町政を問う

北郷幹夫 ●東京五輪聖火リレーのJヴィレッジ出発について
●災害公営住宅の入居状況について
●交通事故防止対策について

門馬 巧 ●職員の人事に関する考え方について
●移住希望者の受け入れ策構築について
●町民バスの利活用について

門馬まりえ ●常磐線全線運行の再開に向けた町の取り組みについて

北郷伯弘 ●減容化施設の跡地利用について
●湯水対策について

小磯利雄 ●広野町地域防災計画について
●農業用水不足について

遠藤 浩 ●児童・生徒の熱中症対策について

阿部憲一 ●権限・責任を明確に
●被曝問題の担当者を置くべき
●町のHPの改善について

渡邊正俊 ●地震、津波対策の見直しについて
●登下校時等の安全体制について

一般質問は、公の場である議会、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成30年6月定例会 ●一般質問

小磯利雄 議員

議会映像配信設備を整備せよ

議会の映像配信は、文字や静止画では表現できない雰囲気や内容を伝えることができ、積極的な情報公開や、緊急時の対応も可能となります。本町でも導入すべきでは。

議会の要望により対応する

県内42の自治体が議会中継を実施しており、本町においても映像配信は可能な状況にあり、議会の要望により対応していきます。

調査特別委員会を設置

議員9人を委員として調査特別委員会を設置し、議会映像の配信を行うために必要な設備や配信の方法などを具体的に検討し、町に要望しました。

議会映像を配信します

映像記録システムを更新し、令和元年9月定例会よりインターネットを通じて一般質問の映像配信を行う予定となりました。